

令和4年度 行政評価調書

総合計画 吹田市第4次総合計画

評価対象年度 令和3年度

大綱 7 都市魅力

政策 3 市民が愛着をもてるまちづくり

施策 1 魅力の向上と発信

施策 2 本市独自の強みを生かしたまちづくり

提出日 令和4年8月2日

提出取りまとめ 都市魅力部

第4次総合計画 施策の評価シート

大綱 7 都市魅力

政策 3 市民が愛着をもてるまちづくり

評価対象年度 令和3年度

<取組内容>

施策	基本計画本文
施策を構成する管理事業	施策の取組状況
7-3-1 魅力の向上と発信	今ある本市の強みをさらに伸ばしていくとともに、市民との連携を深めながら、新たな魅力づくりに取り組みます。また、地域資源を活用しながら、市民がまちの魅力を感じられる機会の充実を図るとともに、魅力の発信に取り組みます。
1 シティプロモーション事業 2 3 4 5 6 7 8 9 10	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ごとの特色や市ならではの魅力向上につながるイベント支援のため、シティプロモーション促進補助金を交付しました。 ・各部署で実施する事業が、シティプロモーションの観点からより効果的に実施されるよう、各部との連携事業を推進するとともに、職員研修を実施しました。 ・施策指標2「情報発信プラザ（Inforestすいた）年間入場者数」は、新型コロナウイルス感染症や施設リニューアルによる休業のため、目標を達成できませんでした。令和3年11月の運営事業者変更や、リニューアルにより、これまで以上に来訪者の心に響く展示方法等を検討、実施したことから、1日あたりの来訪者数は、新型コロナウイルス感染症の影響がない年度並みに回復したため、進捗状況は「B」としました。 ・開催場所を万博記念公園に移し、「すいたフェスタ」として開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度も中止としたため、施策指標1の目標を達成できませんでした。より多くの企業・団体・市民が参加できるよう取組を進めており、進捗状況は「B」としました。 ・施策指標1、2ともにより適切な指標の設定が課題です。
7-3-2 本市独自の強みを生かしたまちづくり	大学との連携を進め、豊富な人材、情報、技術などのまちづくりへの活用を図ります。また、さまざまな団体との連携を深めながらガンバ大阪のホームタウン活動を盛り上げ、地域ぐるみでの応援の機運を高めます。
1 シティプロモーション事業 2 ホームタウン関連事業 3 4 5 6 7 8 9 10	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の関西大学、大阪学院大学、千里金蘭大学、大和大学との連携推進協議会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため最少人数での開催（オンライン含む）や書面開催とした他、市内4大学と同協議会の事務担当者会議を最少人数で実施し意見交換や相互に協力依頼を行いました。また、大学の授業に市職員を講師として派遣し、市の施策や取組を学生に周知した他、課題解決型（PBL）の授業に各室課から課題を提示し、学生のアイデアや視点で解決策の提案を受けました。これらの他に各大学との連携を活かし、新型コロナウイルス感染症対策関連の情報共有や啓発活動も行い、高齢者向けのスマホ教室開催時や新型コロナウイルスワクチンの集団接種の際に、学生にボランティアスタッフとして参加してもらいました。 ・大学との連携の深度やまちづくりへの貢献度合いを計れる適切な施策指標の設定が課題です。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度においても市民ふれあい事業等のイベントが中止となりましたが、新たに市立保育・幼稚園児をスタジアムに招くピッチ体験事業を実施した他、キッズフォローアップ事業や、ガンバ大阪選手着用ユニフォームパンツへの『吹田市』掲出等を引き続き行うことで、ホームタウン意識の醸成に努めました。
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	

